

教科	英語	科目	コミュニケーション 英語基礎	単位数	2	学年	1	科	機械科
----	----	----	-------------------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

<ol style="list-style-type: none"> 4技能をバランスよく身につけることを図り、積極的に英語を使うことを目標とする。 基礎的な文法力と語彙力をつけ、身近な話題と思える簡単な英文を読み進めることを通して、異文化に対する理解を深める。 日常的な話題について、英語で基本的なコミュニケーションを図ることができる力をつける。

2、使用教科書・副教材

JOYFUL English Communicaton Basic (三友社)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	Warming Up1~6	定期考查までに学んだ内容	22
	5月	L1 We Choose		
	6月	L2 World Foods		
	7月	L3 Sanshine Day		
二学期	8月	L4 Our Life	定期考查までに学んだ内容	35
	9月	L5 Super Cool Biz Project		
	10月	L6 The Power of Bonds		
	11月	L7 My School Days		
三学期	12月	L8 Ice Hotel	定期考查までに学んだ内容	21
	1月	For Reading The Duck in the Gun		
	2月	1年間のまとめ		
	3月			

計78

4、評価の方法

主体的な言語活動	自己表現力をつけさせるために、生徒との英問英答を中心とした対話形式を大切にする。
思考・判断・表現	音読、英問英答、練習問題等を通じて表現できているかを観察する
知識・理解	ノートやプリントなどを使い、積極的に理解しようとしているかを確認する。
技能	反復練習を通して定着を図り、積極的に英語を使い、表現しようとしているかを観察する。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、提出物、反応など様々な観点から積極性を観る。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> 英語学習への意欲・興味関心・やる気を引き出し、学習への達成感を感じることができるよう、基礎基本を重視した「わかる」授業を心がける。 支え合い、学び合う中で、安心感を持って学ぶことができる学習環境作りをする。 イラストや図式、映像、音楽など楽しく興味を持って、視覚や聴覚から学ぶことができる教材作りや板書の工夫。 異なる文化や価値観を持つ人々と対話できる力、自分で考え、判断し、行動できる自己表現力を育てる。
--

教科	英語	科目	コミュニケーション 英語 I	単位数	2	学年	2	科	機械科
----	----	----	-------------------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

1. 4技能をバランスよく身につけることを図り、積極的に英語を積極的に使うことを目標とする。
2. 基礎的な文法力と語彙力をつけ、身近な話題と思える簡単な英文を読み進めることを通して、異文化に対する理解を深める。
3. 日常的な話題について、英語で積極的にコミュニケーションを図ることができる力をつける。

2、使用教科書・副教材

JOYFUL English Communication I（三友社）

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	Warm Up 1 2 3 4 5 6 Lesson 1 Morning Relay	定期考查までに学んだ内容	2 2
	5月	Lesson 2 Dance! Dance! Dance! In Seoul		
	6月	Lesson 3 Can an Elephant Stand on Eggs?		
	7月	Lesson 4 Kurikindi —A Single Drop of Water		
二 学 期	8月	Lesson 5 People Design —A Cool Way to Live Together	定期考查までに学んだ内容	3 5
	9月	Lesson 6 Don't Cross This Bridge		
	10月	For Reading 1 Where Do You Come from? —Harry Potter and the Philosopher's Stone—		
	11月	Lesson 7 Kanga Saying		
三 学 期	12月	Lesson 8 Can Music Change the World?	定期考查までに学んだ内容	2 1
	1月	Lesson 9 My Favorite Athlete		
	2月	Lesson 10 Three Days to See For Reading 2 Malala's Voice to the World		
		1年間のまとめ		
	3月			

計 7 8

4、評価の方法

主体的な言語活動	自己表現力をつけさせるために、生徒との英問英答を中心とした対話形式を大切にする。
思考・判断・表現	音読、英問英答、練習問題等を通じて表現できているかを観察する
知識・理解	ノートやプリントなどを使い、積極的に理解しようとしているかを確認する。
技能	反復練習を通して定着を図り、積極的に英語を使い、表現しようとしているかを観察する。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、提出物、反応など様々な観点から積極性を観る。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・英語学習への意欲・興味関心・やる気を引き出し、学習への達成感を感じることができるよう、基礎基本を重視した「わかる」授業を心がける。
- ・支え合い、学び合う中で、安心感を持って学ぶことができる学習環境作りをする。
- ・イラストや図式、映像、音楽など、視覚や聴覚から学ぶことができる教材作りや板書の工夫。
- ・異なる文化や価値観を持つ人々と対話できる力、自分で考え、判断し、行動できる自己表現力を育てる。